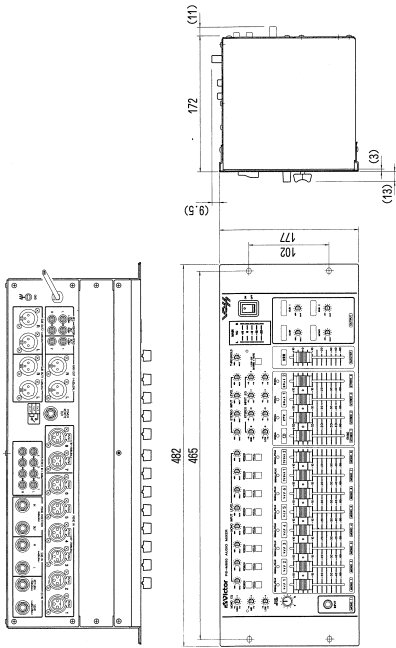


外觀寸法図



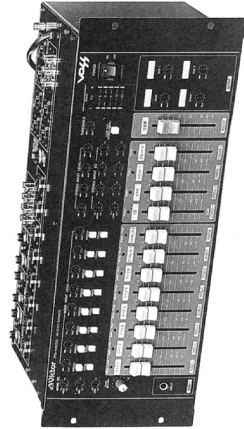
(単位：mm)

取扱説明書

先進の個性



PS-M650 オーディオミキサー



Victor Original Sound Systemの銘で、プロオーディオ機種の堅固機構です。

— お買上げありがとうございます —

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

目次

- 特長……………2
- 安全上のご注意……………2
- 取の扱い上のご注意……………2
- ご使用前に……………2
- 保証とアフターサービスについて……………3
- 各部の名称と働き……………4
- フロントパネル……………4
- モニター入力チャンネル部……………5
- モニター部イコライザー……………6
- ステレオ入力チャンネル部……………7
- マスター部……………8
- 出力部……………9
- リアパネル……………10
- 接続のしかた……………11
- プロアクトカバの取り付けかた……………12
- 接続コネクタ—おまひケーブル……………12
- ロックダイヤグラム……………13
- 仕様……………14
- 設置のしかた……………14
- 外観寸法図……………裏表紙

お客様ご相談センター
〒113 東京都文京区本郷 3-14-7 ビクター本郷ビル 電話 (03) 5684-9311
〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル 電話 (06) 785-4161
札幌支店
〒132 東京都八王子市行川町2969-2 電話 (0426) 80-7247 (ダイヤルイン)



日本ビクター株式会社

このたびは
オーディオミキサー
PS-M650を
お買いあげいただき
ありがとうございます。

特長

- シグナルインジケータ採用。
音声入力のあるチャンネルが一目で分かります。
フロントパネルのフェーダー操作だけで音だしてできます。
- 各チャンネルのレベル設定はすべて縦型フェーダー採用。
音量が一目で分かります。
- モノ入力の音質はボーカーリスピーチにパターン化。
スイッチ操作だけで音質切り替えます。
- BGM信号自動切り替え。
BGM入カ(ステレオ1入カ)は、他のステレオ入カからの信号がないときに自動的に再生します。

安全上のご注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらずに必ずながらずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの巻き足しはしないでください。火災や感電の原因となります。
- コードが熱器具に触れたり、近づくとこがよいようにしててください。被覆が破れたり変形し危険です。
- セット内部に触れることは危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店へお任せください。
- 万一、本機に異常(異常な音・におい、煙など)があったとき、あるいは内部に異物が侵入したり、水が入ったときなどは、ただちに電源スイッチを切り、必ず電源コードを抜いて、販売店にご連絡ください。
- 本機は日本国内専用です。
必ず商用電源AC100V・50/60Hzでご利用ください。

ご使用前の前に

- 設置場所について
本機の上や下にパワーアンプ等信号レベルの大きい機器を設置すると、ハム音やノイズが出る場合があります。できるだけ離して設置してください。
- 配線について
電源コードやスピーカケーブルなどの電力線とマイクケーブルなどの入力線を近づけると機器の動作が不安定になり、動作不良の原因になる場合があります。電力線と入力線はできるだけ離して設置してください。

- 電源スイッチの投入について
すべての接続が終わってから本機の電源を「ON」にしてください。また、接続コードの抜き差しは「パワーアンプと本機の電源を「OFF」にしてから行ってください。
- 電源の投入順序について
電源を入れるときは「パワーアンプを最後にしてください。電源を切るときは逆に「パワーアンプから切ってください。機器の電源「ON」「OFF」時のノイズ等によるスピーカへの破損を防止できます。

- ミュートタイミング動作について

電源を入れてから約4秒間は音が出ません。
これはミュージックタイミング動作のためで、故障ではありません。

保証とアフターサービスについて

- 保証書の記載内容ご確認と保存について
この商品には、保証書を別途添付しております。保証書は、お買上げ販売店でお渡ししますので、所定時限の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間について
保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理致します。

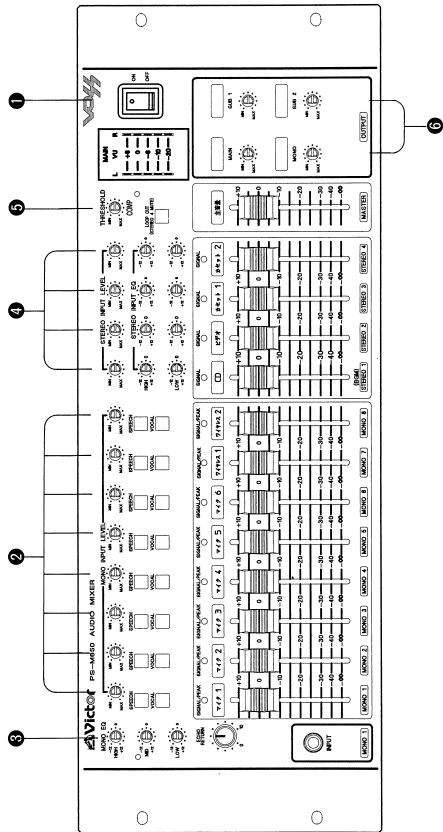
- アフターサービスについてのお問い合わせ先
その他アフターサービスについてご不明の際は、お買上げ販売店、または別紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。
真のうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。
- 修理を依頼されるときは
修理を依頼される場合は、お手紙でももう一度、各駅の接納についてお調べください。それでも員名が悪いときは、電源プラグを抜いて、次のことをお知らせください。
 - ・機種名：PS-M650
 - ・故障の症状をできるだけ詳しく
 - ・ご購入年月日 ご住所 ご氏名 電話番号

取り扱い上のご注意

- 窓をしめざった自動車の中や直射日光のあたる所、暖房器具の近くに設置しないでください。
変形、変色、故障することがあります。
- 湿気の多い場所または油煙や湯気が当るような場所は避けてください。故障の原因となります。
- 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かないでください。
- 傾いた所や弱い台など、不安定な場所には置かないでください。万一、落ちたり倒れたりすると大変危険です。
- キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布で拭きます。シンナーやベンジン、殺菌剤など揮発性のものをかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたまにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤(カゼイリ)の働きにより変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

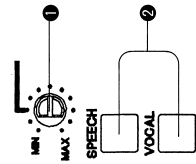
各部の名称と働き

■フロントパネル



- ① **POWER 電源スイッチ**
スイッチを“ON”側にするとう電が入ります。
電源“ON”後約4秒間は音がでません。
電源を切るときは“OFF”側にします。
- ② **モノラル入力チャンネル部(CH1～8)**
詳しい説明は5ページをお読みください。
- ③ **モノラル部イコライザー**
詳しい説明は6ページをお読みください。
- ④ **ステレオ入力チャンネル部(CH1～4)**
詳しい説明は7ページをお読みください。
- ⑤ **マスター部**
詳しい説明は8ページをお読みください。
- ⑥ **出力部**
詳しい説明は9ページをお読みください。

■モノラル入力チャンネル部(CH1～8)



① MONO INPUT LEVEL 入力レベル調節ボリューム

接続した機器の出力レベルに入力感度を合わせます。約40dB調節できます。
チャンネルフェーダーが基準位置(0°/自盛)で適正な出力が得られるように②ドライバを使って調節してください。また、シグナルピークインジケータが赤く点灯するときは、このボリュームを左(の)にまわして赤が点灯しない位置に調節してください。

CH1～6：入力感度 -60～-20dBs(有線マイク)
CH7～8：入力感度 -30～+10dBs(ワイヤレスマイク)

② SPEECH/VOCAL イコライザー切り替えボタン

モノラル入力のイコライザーをスピーチまたはボコーラルに切り替えます。
エコー出力の入切スイッチを兼用しています。

SPEECH：同音や静寂などのとき使用します。(エコー一切)

“ON”のとき緑色に点灯します。

VOCAL：カブオケなどのとき使用します。(エコー入)

“ON”のとき橙色に点灯します。

③ SIGNAL/PEAK シグナル/ピークインジケータ

入力信号をプリフェーダーの位置で検出し、緑色に点灯します。過大信号が入力されると赤く点灯します。

赤く点灯する場合、入力信号が適正レベルを越えていますので入力レベル調節ボリュームを左(の)にまわして、赤が点灯しない位置に調節してください。

④ チャンネルフェーダー

各チャンネルの音量を調節します。

“0”自盛が基準位置です。最大位置で約10dBの利得増強があります。

ほかのフェーダーと区別するため、つまみの色を変えることができます。

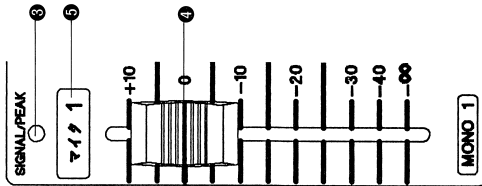
(つまみの交換については14ページをお読みください)

⑤ 表示スペース

入力端子に接続された機器名をシール(付属)により表示するスペースです。

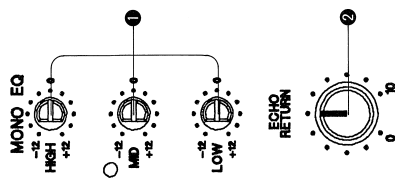
— 入力感度変更について —

各モノラル入力は内蔵スイッチの切り替えで、有線マイク用またはワイヤレスマイク用に入力感度を変更できます。お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様のご要望により有料にて調整いたします。



各部の名称と働き(つづき)

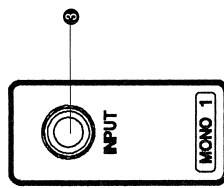
■モノラル部イコライザー



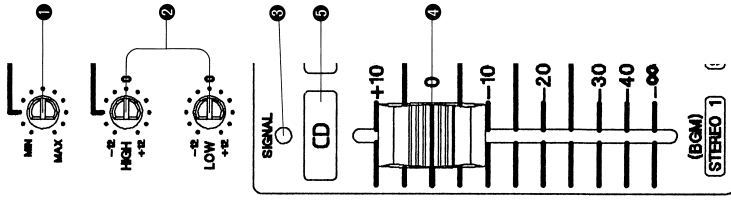
- ① 音質調節(イコライザー)ボリューム**
各モノラル入力信号をミックスした信号の音質を調節します。センターグリップ位置でフラットな特性になります。右(○)または左(○)にまわすことで、各周波数の音を最大12dB増加または減少できます。
HIGH(高音)：10kHzシエルビングタイプ
MID(中音)：2kHzビークタイプ
LOW(低音)：100Hzシエルビングタイプ
- ② ECHO RETURN エコーリターン調節ボリューム**
エコー入力の音量を調節します。
- ③ INPUT (MONO 1) モノラル入力1端子**
-60dBs～-20dBs/10kΩ平衡マイクを接続する端子です(6.3φ形式フオンジャック)。出カインピーダンス50Ω～800Ωのマイクをご使用ください。マイクケーブルを延長する場合は5m以上はバランスタイプ(平衡型)のマイクのご使用をおすすめします。(推奨マイク：PS-C51、PS-C52B/W)

ご注意

モノラル入力1は、リアパネルとフロントパネルに入力端子がありますが、両方向時に使用できません。フロントパネルの入力端子が優先となりますので、リアパネル側の入力端子を使用するときは、フロントパネルの入力端子に接続しないでください。



■ステレオ入力チャンネル部



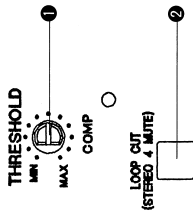
- ① STEREO INPUT LEVEL 入力レベル調節ボリューム**
接続した機器の出力レベルに入力感度を合わせます。チャンネルフェーダーが基準位置で適正な出力が得られるように調節してください。(このボリュームはMIN位置で切り切りになります。)
- ② 音質調節(イコライザー)ボリューム**
センターグリップ位置でフラットな特性になります。右(○)または左(○)にまわすことで、各周波数の音を最大12dB増加または減少できます。
HIGH(高音)：10kHzシエルビングタイプ
LOW(低音)：100Hzシエルビングタイプ
- ③ SIGNAL シグナルインジケータ**
入力信号をプリフェーダーの位置で検出し、緑色に点灯します。
- ④ チャンネルフェーダー**
各チャンネルの音量を調節します。
"0"目盛が基準位置です。最大位置で約10dBの利得余裕があります。ほかのフェーダーと区別するため、つまみの色を変えることができます。(つまみの交換については14ページをお読みください)
- ⑤ 表示スペース**
入力端子に接続された機器名をシール(付属)により表示するスペースです。

ご注意

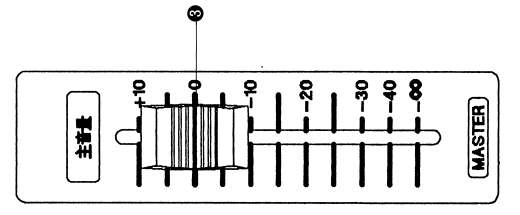
BGM機能(STEREO 1入力)
ステレオ入力2～4に信号が入ると、ステレオ入力1(BGM)の音量をカットします。ステレオ入力2～4の信号がない場合やステレオフェーダー2～4を絞った場合は、ステレオ入力1(BGM)の音量は元にもどります。

各部の名称と働き(つづき)

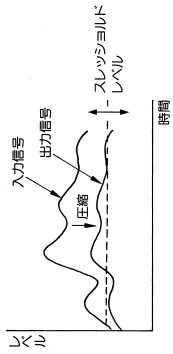
■マスター部



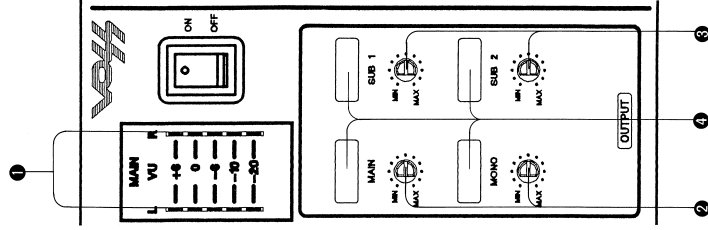
- THRESHOLD** コンプレッサーレスリミットレベル調節ボリューム
過大な信号が入った場合、入力信号を圧縮(コンプレッション)し、音を歪ませることなく出力することができます。この圧縮を開始する信号レベル(スリッシュヨルトレベル)を調節できます。
右(○)に回すとレベルの大きいところ、左(□)に回すと小さいところで圧縮が開始されます。
ほぼ中央位置が標準的なスリッシュヨルトレベルです。
左に回しすぎますと、音の強弱にメリハリがなくなります。



- LOOP CUT** ループカットスイッチ
このスイッチはSTEREO 4に接続したカセットデッキで録音するとき、システム内のループにより共振が起きることを防止するためのものです。
"ON"にするとSTEREO 4のフェーダーをあけても、STEREO 4の音は再生されません。
使い方は次の通りです。
STEREO 4 (カセット 2)で録音する場合……スイッチ"ON"
(赤色に点灯します)
STEREO 4 (カセット 2)で再生する場合……スイッチ"OFF"
(消灯します)
注：録音、再生するカセットデッキの再生出力はSTEREO 4 (カセット 2)へ接続してください。
再生専用カセットデッキの再生出力はSTEREO 3 (カセット 1)へ接続してください。
- MASTER** マスターフェーダー
各出力の音量を一括して調節します。
"0"目盛が基準位置です。最大位置で約10dBの利得余裕があります。



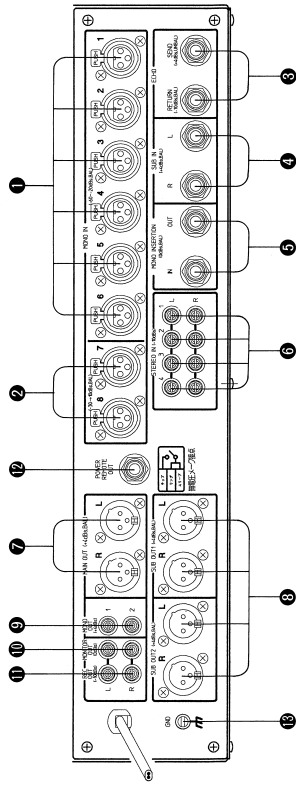
■出力部



- MAIN** メイン出力レベルインジケータ
メイン出力のし-Rのレベルを表示します。
出力レベルが定格(+4 dBs)のときインジケータは"0"VUを表示します。(0 dBs = 0.775V)
- MAIN、MONO** メイン、モノ出力レベル調節ボリューム
メイン(MAIN)およびモノ(MONO)出力の音量をそれぞれ調節します。
- SUB 1、SUB 2** サブ 1、サブ 2 出力レベル調節ボリューム
サブ 1 (SUB 1)およびサブ 2 (SUB 2)出力の音量をそれぞれ調節します。
- 表示スペース**
出力端子に接続された系統名をシール(付属)により表示するスペースです。

各部の名称と働き(つづき)

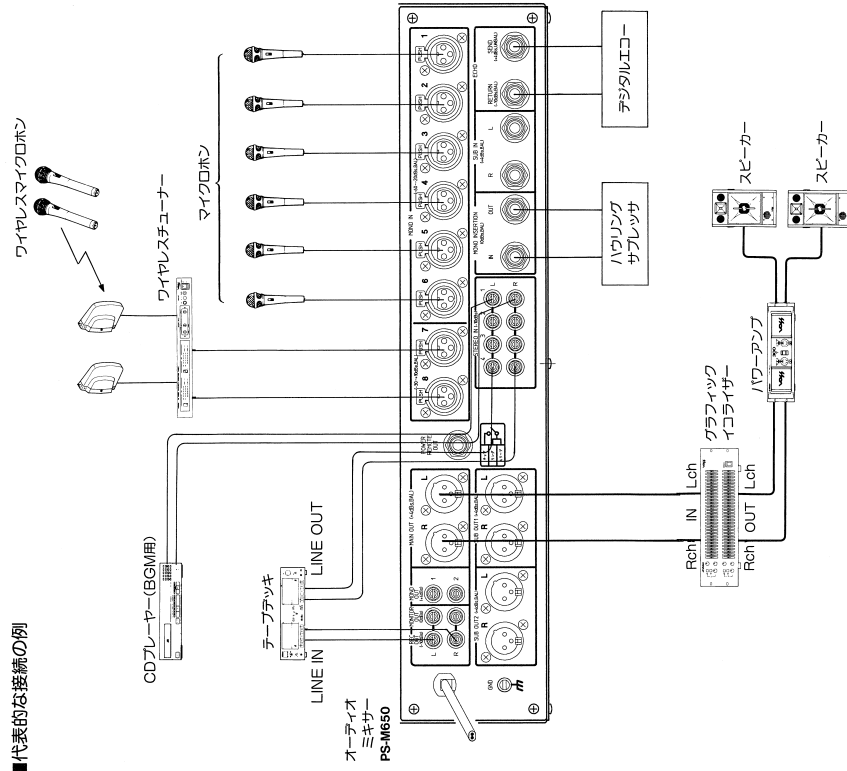
■リアパネル部



- ① **MONO IN (CH 1 ~ 6) (モノラル入力)**
-60~-20dBs/10kΩ平衡 XLR-3-31相当
50~600Ωのマイクローホンを接続する端子です。
- ② **MONO IN (CH 7 ~ 8) (モノラル入力)**
-30~+10dBs/10kΩ平衡 XLR-3-31相当
ワイヤレスチューナーや音声合成装置などの機器を接続します。
- ③ **ECHO (エコー部)**
ECHO SEND (エコー出力)
+ 4 dBs/10kΩ不平衡 フォノジャック
エコーマシンへ出力し、エコーをかける場合に使用します。
- ④ **ECHO RETURN (エコー入力)**
-10dBs/10kΩ平衡 複式フォノジャック
エコーマシンの出力を接続します。
- ⑤ **SUB IN (サブ入力)**
+ 4 dBs/10kΩ平衡 複式フォノジャック
サブミキサーなどの出力(ステレオ信号)を接続し、PS-M650の入力とミキシングします。
- ⑥ **MONO INSERTION (インサージョン入力)**
0 dBs/10kΩ平衡 複式フォノジャック
モノラル入力系統に、ワウリングサブレッサなどの周辺機器を接続します。
- ⑦ **STEREO IN (CH 1 ~ 4) (ステレオ入力)**
-10dBs/10kΩ不平衡 ビンジャック
CDプレーヤーやカセットデッキなどの機器を接続します。
- ⑧ **MAIN OUT (メイン出力)**
+ 4 dBs/600Ω平衡 XLR-3-32相当
各入力信号をミキシングした信号を出力します。
- ⑨ **SUB OUT 1, 2 (サブ出力 1, 2)**
+ 4 dBs/600Ω平衡 XLR-3-32相当
各入力信号をミキシングした信号を出力します。
- ⑩ **MONO OUT (モノラル出力)**
+ 4 dBs/10kΩ不平衡 ビンジャック
L, R信号をミキシングし、モノラルにして出力します。
- ⑪ **MONITOR OUT (モニター出力)**
0 dBs/10kΩ不平衡 ビンジャック
メイン出力とあなじ信号を出力します。
モニター用/パワーアンプを接続します。
- ⑫ **REC OUT (録音出力)**
-10dBs/10kΩ不平衡 ビンジャック
カセットデッキなどの録音機器に接続します。
- ⑬ **POWER REMOTE OUT (電源リモート)**
無電圧メーク接点出力 フォノジャック
主電源ユニット(別売)の電源起動端子に接続します。
- ⑭ **GND (グラウンド端子)**
PS-M650を接地したいとき使用します。

接続のしかた

■代表的な接続の例



— ご注意

テーブデッキで録音するときは、発振する場合がありますのでそのテーブデッキの再生出力をSTEREO 4 に接続し、**LOOP CUT**スイッチを“ON”にするかSTEREO 4 フェーダーつまみを最小位置(∞)にしてください。

接続コネクタおよびケーブル

接続コネクタの配線は下図のようにしてください。

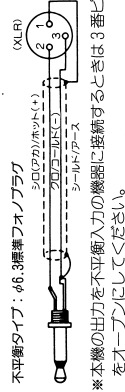
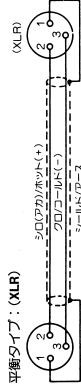
XLRタイプコネクタの場合

- 1番：アース
- 2番：ホット
- 3番：コールド

φ6.3標準フオノプラグの場合

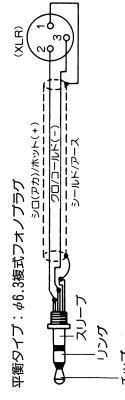
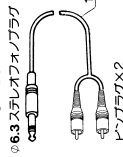
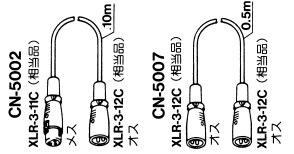
- スリーブ：アース
- チップ：ホット
- リング：コールド

接続ケーブルを製作する時は下図を参考にしてください。

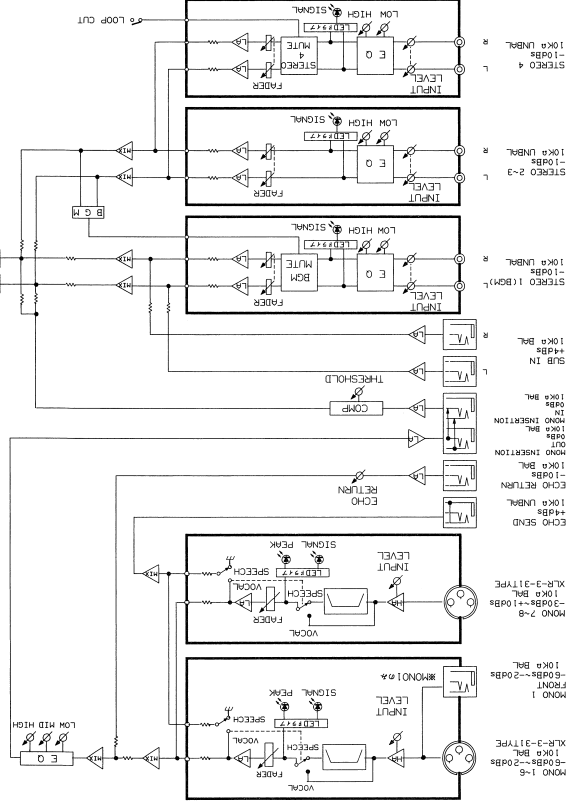
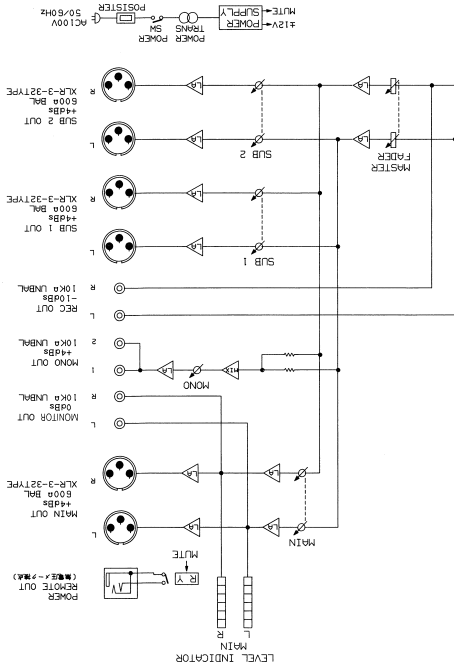


※本機出力を不平衡入力の機器に接続するときは3番ピンをオープンにしてください。

弊社では既に配線済みの次のようなケーブルを用意しています。お買上げの販売店にご依頼ください。



ブロックダイヤグラム

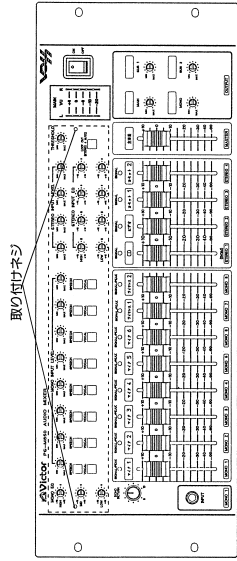


プロテクトカバーの取り付けかた

モノラル入力レベルおよびSPEECH/VOCALスイッチ、モノラルコライザー、ステレオ入力レベル、ステレオコライザー、スレシヨルトレベル、LOOP CUTスイッチを設定した後、付属のプロテクトカバーを取り付けますと、ボリュームを保護し不要な操作を防げます。

●取り付け方法

カバーの穴をフロントパネルの取り付け穴に合わせ、プロテクトカバーの取り付けネジを手で締めて固定します。



仕様

本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

入力回路

- モノラル入力1~6 : -80dBs~-20dBs 10kΩ 電子平衡(XLR-3-31相当)
(XLR1はパネル前面にもフロント極先の複式フオンジヤック付)
- モノラル入力7~8 : -30dBs~-10dBs 10kΩ 電子平衡(XLR-3-31相当)
- ステレオ(L/R)入力1~4 : -10dBs 10kΩ 不平衡(ピンジヤック)
(XLR1はBGM入力)

出力回路

- エコーリターン(モノラル)入力 : -10dBs 10kΩ 電子平衡(複式フオンジヤック)
- モノインサージョン入力 : 0dBs 10kΩ 電子平衡(複式フオンジヤック)
- サブイン(L/R)入力 : + 4dBs 10kΩ 電子平衡(複式フオンジヤック)
- メイン(L/R)出力 : + 4dBs 600Ω 電子平衡(XLR-3-32相当)
- モノラル出力1~2 : + 4dBs 10kΩ 不平衡(ピンジヤック)
- サブ(L/R)出力1~2 : + 4dBs 600Ω 電子平衡(XLR-3-32相当)
- モニター(L/R)出力 : 0dBs 10kΩ 不平衡(ピンジヤック)
- 録音(L/R)出力 : -10dBs 10kΩ 不平衡(ピンジヤック)
- エコーセント(モノラル)出力 : + 4dBs 10kΩ 不平衡(ピンジヤック)
- エコーインサージョン出力 : 0dBs 10kΩ 電子平衡(複式フオンジヤック)
- パワーリモート出力 : 無電圧メーグ接点出力(接点容量DC24V 1A MAX)
: 20~20kHz +0.5, -1dB(ステレオ入力)

周波数特性

- 全周波数帯域 : 20~20kHz +0.5, -2dB(モノラル入力VOCAL選択時)
- 入力換算雑音 : 0.05%以下(20~20kHz +18dB出力時 メイン出力)
- 入力シグナルインジケータ : 線形LED(モノラル150Ω終端 IHF-A WTD モノ1 80dB感度)
- モノラルスピーチコライザー : 130Hz~7kHz +0.5, -3dB
- モノラルトータルコライザー : HIGH(10kHz±12dB)、LOW(100Hz±12dB)シエルピング
MID(2kHz±12dB)ピーキング
- ステレオイコライザー : HIGH(10kHz±12dB)、LOW(100Hz±12dB)シエルピング
- モノラルコンプレッサー : モノラル入力回路に内蔵
- BGM自動切り替え : BGM入力自動切り替え回路内蔵(STEREO1)
- ループカット : ステレオ4の入力の信号をカット
- LEDレベルインジケータ : 5素子×2 (メイン出力)
- 電源 : AC100V、50/60Hz
- 消費電力 : ⑤32W
- 使用周囲温度 : 5℃~40℃
- 寸法・重量 : 幅48×高さ177×奥行172mm、約8kg
- ラックマウントサイズ : EIA 4H
- 仕上げ : パネル：黒色半艶焼付塗装(マニセルN1近似)

〈付属品〉

- シール.....1
- 保護カバー.....1
- カバー取り付けネジ.....2
- スクリーン(5mm).....4
- フェーダーつまみ(緑).....2
- フェーダーつまみ(青).....2

フェーダーつまみの色変更について

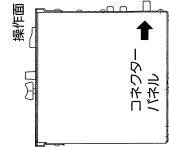
付属品のフェーダーつまみ(緑×2、青×2)により、フェーダーつまみの色を変えることができます。
簡単に抜けないよう挿入されていますので、抜くときは両手でつまみごと抜いてください。

設置のしかた

以下の説明は販売店のかたへの説明です。設置の前によくお読みの上正しく設置してください。

■コネクターパネルの移動方法

- 使用例1
水平置き
(コンソールマウント仕様)

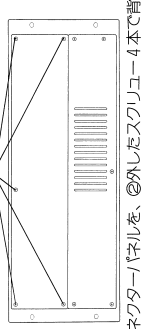


- 使用例2
垂直置き
(ラックマウント仕様)

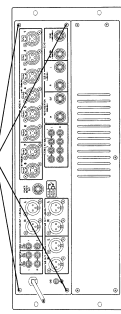


本機をラック等にいれる時、接続ケーブルを上向きコネクター部に接続できない場合には、コネクター部を上向きから背面に移動可能です。

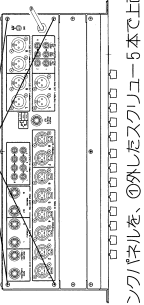
- (1) 背面のスクリュー①5本を外し、ブラングパネルを外します。



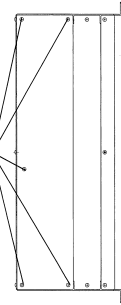
- (3) コネクターパネルを、②外したスクリュー4本で背面に取り付けます。



- (2) 上面のスクリュー④4本を外し、コネクターパネルを外します。

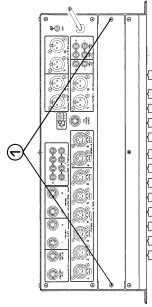


- (4) ブラングパネルを、①外したスクリュー5本で上面に取り付けます。



■モノラル入力感度の変更方法

- 1. 天面のスクリュー①2本をはずし、トップブラングパネルをはずします。



- 2. モノラル入力の感度を変更したいチャンネルのスライドスイッチの設定を変更します。
フロントパネルから見て上側が「LINE」(ワイヤレスマイク)、下側が「MIC」(有線マイク)位置です。(スイッチ番号S101)
- 3. トップブラングパネルを戻します。
- 4. 動作を確認します。

ご注意

ラックに組み込むときは、パワーアンプの近くは避けてください。パワーアンプの電源トランスの影響で、ハム音が発生する場合があります。